



### 小中学校における暑さ・紫外線対策

後藤 彰  
(新風会)

**質問** 運動時のマスクの着用は熱中症のリスクが指摘されているが、体育の授業中のマスクの着用状況は。

**答弁** 本市では、国の指針を基に、運動時のマスクの着用による身体へのリスクを考慮し、体育の授業の際はマスクを外している。なお、マスクを外して活動する際は、児童・生徒の間隔を十分に確保するなど、感染防止対策を講じるよう各学校へ周知している。

**質問** 登下校時や体育の授業中にサンングラスや日傘を

使用するものについて、本市の考えは。

**答弁** 国のマニュアルによると、最適な紫外線量は個人差があり、子どもうちに浴びた紫外線の影響が何十年も経ってから現れることが指摘されている。またサンングラスは、使用を誤ると逆効果になることも例示されているため、当面は医師の指導の下、個別に対応したい。日傘の使用についても、保護者と連携して個別に対応していきたい。



### 本市の避難対策

中村 さと美  
(公明党)

**質問** 食物アレルギーのある避難者に対応するための備蓄品の状況は。また、災害時電話・FAXサービスの情報発信の仕組みは。

**答弁** 食物アレルギー特定原材料等を使用していないアルファ米や低タンパク質アルファ米などを備蓄し、避難者の特性に配慮した提供ができるよう努めている。

情報配信サービスは、登録者へ短時間に一斉配信する仕組みであり、不在時には再度配信する。また災害の危険が高まった地域に配信を限定できるため、情報を伝えたい人に的確に配信できる仕組みとなっている。

**質問** 地域女性活躍推進交付金を活用した女性元気サポート事業の内容は。また、



生理の貧困問題への対応は。



### 災害対策

中島 輝男  
(市民クラブ)

**質問** 災害時電話・FAXサービスの利用対象外となる市民へ対応する考えは。

**答弁** 本サービスの利用対象者は、高齢者や障害者とその家族、外国人などであり、避難の際に何らかの支援が必要の人としていることから、対象外の人でもサービスの提供が必要であれば柔軟に対応していきたい。

**質問** 無料低額診療事業の利用者数の推移は。また、



コロナ禍での診療の様子

援などを行うものである。生理用品等の提供については、提供方法に配慮しながら適切に対応していきたい。



**質問** 利用者分の医療費を負担する医療機関への支援は。

1万9932人である。コロナ禍において、国では、社会福祉事業の一環として本事業を行っている病院等を含む医療機関に対して、感染拡大防止対策に要する費用を補助している。加えて本市では、独自に発熱者外来や帰国者・接触者外来を開設する民間の医療機関に対して、開設費用の一部を補助するなど、当初から継続的に支援を行っている。



### 農業者支援

樋口 哲郎  
(新風会)

**質問** 本市の荒廃農地の状況は。

**答弁** 令和2年の荒廃農地は、市内の農地8311ヘクタールのうち、598ヘクタール、約7・2%である。荒廃農地は、平成30年からの3年間で19ヘクタール増加している。

**質問** 荒廃農地再生に向け、本市が新たに創設した独自の支援策である、農業再生推進事業の考え方と内容は。

高度利用を積極的に進める必要があると考え、制度を創設した。この事業は、農振農用地のうち、市が荒廃農地と判断した農地などを整備する生産者に対して支援を行う。支援額は、草が繁茂するだけの農地を田畑として活用する場合は、1アール当たり1万2千円である。さらに、荒廃農地の再生やその後の生産活動に必要な農業機械などの導入経費にも活用できる。



### 次世代の地域社会づくりの取り組み

三井 暢秀  
(市民クラブ)

**質問** 若者たちが主体となって地域社会づくり活動を行うことが重要と考えるが、本市における活動状況は。

**答弁** 本市の若者主体の団体には、中心商店街の活性化を目指して活動する団体や、社会に出る直前の高校生に社会とのつながりを学ぶ機会を提供する団体、里山体験を通じて子どもたちが主体的に考え行動する力を養うことを目的に活動する団体などがあり、多くの若者がさまざまな分野で活動している。各団体の活動

は、地域づくりや地域の活性化につながるため、本市も活動の周知など、引き続き支援していきたい。

**質問** コロナ禍における高崎まつりの運営内容は。



### くらぶち英語村

丸山 芳典  
(新風会)

**質問** くらぶち英語村の開設から4年目となり、運営も順調であると聞くが、子どもたちの様子は。

**答弁** 掃除、洗濯、食事の準備、宿題などの日常生活をスムーズに行っている。全国から年齢の異なる子どもたちが親元を離れて共同生活をしているため、気が

乗らないこともあるようだが、指導員が話を聞いたり一緒にスポーツをするなど、気分転換ができるよう工夫や配慮をしている。

また、地元の人からは、子どもたちの登校する様子を見て元気をもらっているという声を聞いている。



子育てSOSサービス事業による支援



### 新型コロナの収束に向けた取り組み

出産・子育て支援  
小野 聡子  
(公明党)

**質問** ワクチン接種を希望するが、何らかの事情で未予約である人への対応は。

**答弁** 高崎市コロナワクチン問合せ電話では、予約が困難な高齢者に予約方法を説明するなど、接種に関する相談に応じており、さらに、保健所や各支所の職員による予約手続きの支援も案内している。引き続き、希望者が速やかに接種できるように取り組んでいく。

元年には地元の高齢者を英語村に招き、食事をしながら簡単な英会話レッスンを行ったが、大変好評だった。



**質問** 妊婦健診の個人負担について助成する考えは。また、産後支援の現状は。

**答弁** 本市では、無料で受診できる検査項目で、必要



### 子どもの健やかな成長を取り巻く支援

堀口 順  
(市民クラブ)

**質問** 児童虐待やヤングケアラーに対する学校の取り組みは。

**答弁** 担任等から虐待につながる情報を得た場合、こども救済センターへ速やかに相談や通告をすることも、傷やあざなどが確認できる重いケースに関しては、児童相談所への通告や警察への通報をしている。

また、家庭環境に問題を抱える児童・生徒については、スクールソーシャルワーカーと協力し、実態の把握や支援が必要な子どもの

早期発見に努めている。

**質問** 今後のワクチン供給量の見込みと接種の予定は。また、予約方法の改善は。

**答弁** 今後の供給量は国から示されていないが、量や時期が明らかになれば速やかに接種の予定を決定したい。予約については、予約センターの電話回線を増やすとともに、2回分を同時に予約できる仕組みを導入した。さらに保健所や各支所で予約手続きの支援を行うなど、改善に努めている。



地域経済の活性化を図るため、都道府県および市町村が実施する、地域の実情に応じて行う女性の活躍推進に資する取り組みを支援する内閣府の交付金。

### 地域女性活躍推進交付金

### 無料低額診療事業

生計困難者が、経済的な理由によって必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料または低額な料金で診療を行う事業。

耕作の放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地。

### 荒廃農地 (P6参照)

農業振興地域内の農用地。青地とも呼ばれる。農業の振興を図るために優良農地として守る必要がある農地。

### 農振農用地 (P6参照)

本来は大人が担う家事や家族の世話を、日常的に行っている子ども。

### ヤングケアラー

### まめ知識